

第17回 山口市中心市街地活性化協議会（要約）

1. 日 時 平成22年4月28日（水）19：15～20：40
2. 場 所 山口商工会議所5階コミュニティホール
3. 出席者 19名
3. 内 容

【報告事項】

○ 山口市中心市街地活性化基本計画の進捗状況について

指標の最新数値を見ると、平成21年度の数値は商店街の休日通行量については、昨年度に比べて大きく落ち込んでいる。経済状況の影響もあり、アルビ跡地事業もこれからという状況ではあるが大変厳しい結果であった。小売業年間商品販売額については、平成21年度は市でも独自に調査を行っているが、集計作業に時間を要しており発表はもう少し後になる。居住人口については、平成21年度の時点で目標をクリアしているという状況であるが、中心市街地から転出される方もおられるので、今後も居住人口増加の取り組みをしていかなければならないと考えている。

・ 道場門前商店街について

どうもんパークについては、4月から楽という整骨院（保険の利く）がテナントとして入りすべてうまくいった。また、アパートも着工をしている。ランドマークになるようなアパートにしようということで、工事も順調に進んでいる。

・ 米屋町商店街

米屋町は点の開発では生き残ることは難しいと考え、面の開発を考えている。10年を目処に全体を変えていく。60年の定期借地権を設定し、土地の価格を表に出さないような仕組みで、イメージとしてはロハスガーデンということで、中庭を利用しゆったりとした居住空間を作り、店舗と住居をはりつけていく計画である。地権者の合意もだいたい整っており、事業手法としては法定再開発を考えている。今回の計画については、小規模連鎖型で進めることとしている。

・ きぎょうサポートセンター事業

平成20年度から行っているレンタルボックス街知箱事業については、22年3月末で60名のオーナーが多種多様なものを来店している。月平均1,085人の来店。平成21年度は経営コンサルティング事業（ワクワク系マーケティング）を開催し、個店の売上増加対策を行った。8店舗17人の参加があった。店舗別の接客訓練も行い事業全体で延べ189名の方に参加いただいた。

○ 平成22年度中心市街地活性化関連の山口市予算について 都市整備部の中心市街地関連予算について説明。

【協議事項】

1. 平成21年度事業報告（案）及び収支決算（案）について

事務局から平成21年度事業報告（案）及び収支決算（案）について別紙資料に基づき説明。異議なく承認された。

2. 平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

事務局から、別紙資料に基づいて説明。協議会の開催については、今年度から定例化し、年4回開催（4月、7月、10月、1月）。また、事業として、中心市街地活性化セミナー及びワークショップを開催することを計画。セミナーについては、かしわインフォメーションセンターの藤田とし子氏を招聘し、「街づくりのノウハウについて」というテーマで実施。ワークショップについては、中心市街地の住人、商店街の店主等で「にぎわいのあるまち、暮らしやすいまち、自然と文化の薫るまち」というようなテーマで年4回程度開催。続いて、収支予算（案）について説明が行われ、異議なく承認された。

3. （仮称）やまぐちマーケットプラザ事業の特定民間中心市街地活性化事業計画に係る認定申請について

事務局から別紙資料に基づき、計画の認定基準、申請書類の構成、施設全体のコンセプト、施設概要等について説明が行われた。

- ・ 事業スキームとしては、中市商店街振興組合が暮らしにぎわい再生事業補助金を活用して施設を建設する。その後、街づくり山口が戦略補助金を活用し取得、運営を行っていく。その戦略補助金の申請手続きの前段として、別紙資料の通り、中心市街地の活性化に関する法律に基づき、中心市街地活性化協議会による協議を経て、特定民間事業計画を作成し、認定を受け申請手続きを進めることとなる。
- ・ 計画の認定基準がポイントとなるが、2つの要件があり、1つ目の事業主体としての要件、2つ目の共同店舗を設置する際の要件についても、別紙記載のとおりすべての要件を満たしている。
- ・ 東の核としてアルビ跡地事業があり、1日1度は足を運ぶ中心商店街を目指し、現在の商店街に不足している業種として生鮮3品の市場を設置するというところで計画している。

4. その他

○成人式の誘致について

平成22年2月9日に商店街連合会藤本会長、中野会頭で市長に市民会館もしくはアリーナを会場に成人式を実施してもらえないかという要望書を提出したところ、23年は検討してみようということとなっている。収容人数の問題等からも山口市合併以来、

阿知須のきららドームで開催されているが、阿東町との合併もあり地理的な問題からも中心部が良いのではと考えている。会議所でも担当者レベルで中心部での開催になった場合、どのような対応ができるのか検討しているところである。成人者は約2,500人で出席者は約1600人程度と聞いており、市民会館の開催も小ホールでモニター等を使えば対応可能ではないかと考えている。写真撮影場所、駐車場の課題はあるが、阿知須については、消費をするというロケーションでなく、市民をあげて祝福をするという意味からも中心部での開催が望ましく、中心市街地の活性化に寄与する場所での開催を実現するためにどのような取り組みが必要か皆様からも知恵をいただきたい。

<意見>

- ・ 中心市街地活性化の観点から商店街周辺で実施してもらいたい。
- ・ 記念品は最近どんなものが配られているのか。商店街に足が向くような商品券とかが良いのでは。期間限定にすると効果があるのでは。
- ・ きららドームでは親が大変。成人式は親が送迎をしているケースが多く、きららドームでは中心部から離れすぎていて親が道の駅で待機しているような状況である。
- ・ 徳地の方は美容室がないので大変と聞いた。徳地の方は喜ばれるのでは。
- ・ 同窓会を開催することが多いと聞いているので、湯田との連携（ディスカウント等）もできないかと考えている。商店街でも割引特典をつけるなどの対応があるとよい。イベントを持つ必要があるのでは。ニーズがどこにあるのかわからないので、18歳～19歳を対象にアンケートをするということも検討している。
- ・ 成人式は何をやっているのか。大人として相応しいような講演会をやってみてもよいのでは。
- ・ 同窓会のような目的でいく人が多い。
- ・ 着物の着替えができるような場所として、会議所を開放することも可能である。
- ・ 着物は1人で着替えることができないのでは。レンタルも多いし、着物を脱いでもたむことができないと思う。
- ・ ドリンク券が付いていると良いと聞いた。飲食店の割引券があると利用する。美容室の割引券など。小物のサービス券など。

以上